

農地中間管理事業の推進に関する法律（平成 25 年法律第 101 号）第 26 条第 1 項に基づく農業者等の協議が行われたので、同項の規定により下記のとおり公表する。

令和 5 年 2 月 28 日

丹波市長 林 時彦

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
丹波市	青垣町栗住野	令和 2 年 7 月	令和 5 年 2 月

1. 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	45.0 ha
②アンケート調査に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	28 ha
③地区内における 75 歳以上の農業者の耕作面積の合計	1 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.8 ha
(備考)・ 今後は農地中間管理機構の活用も視野に入れる。 ・ 鳥獣害防止策の維持管理に努める。	アンケート回答割合 (②/①) 62.2 %

2. 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none">・ 小区画化農地の整理、用水ポンプの維持費確保。・ 水路の広い法面の草刈り等の人手不足。・ 鳥獣害防止柵の点検頻度が少ない。
--

3. 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none">・ 効率的な農地集約を話し合いにより行う。・ 自治会として積極的に集約方法を提案する。
--

注：「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標となる所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

(参考) 中心経営体

属性	中心経営体	4 経営体
----	-------	-------

4. 3 の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

<ul style="list-style-type: none">・ 農業を維持するため、ポンプの入れ替え等を視野に入れる。・ 農地中間管理機構活用促進のため、委員会を設ける。・ 集落の圃場は出来る限り集落内耕作者が耕作する。
--